

# 速度抑制施設について

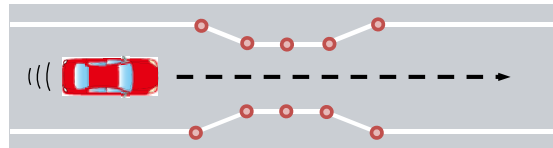
道路上に設置することで、自動車の走行速度を低減させるとともに、抜け道利用などの通過交通を抑制し、歩行者の安全を確保するための施設。

- ・ <sup>きょう</sup>狭さく
- ・ ハンプ
- ・ シケイン etc...

## ① <sup>きょう</sup>狭さく...車道幅員がポールなどにより物理的に狭くされている部分

目的:

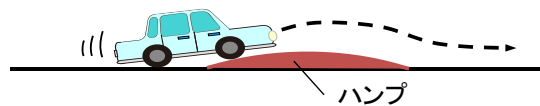
車両の通行部分の幅を物理的に狭くすることにより、運転者に対し減速を促すことを目的とした施設。



## ② ハンプ...車道路面に設置された盛り上げられた部分(凸部)<sup>とつぶ</sup>

目的:

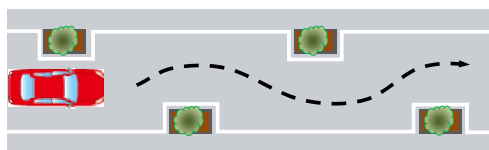
通過する車両を押し上げるため、運転者が事前にこれを視界の中で確認して走行速度を低減することを目的とした施設。



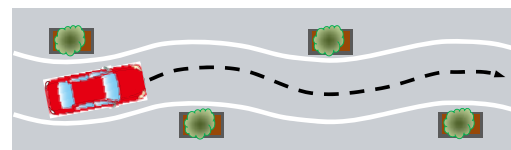
## ③ シケイン...車道がジグザグまたは蛇行している部分

目的:

車両の通行部分の線形をジグザグにし、運転者に左右のハンドル操作を強いることにより、車両の走行速度を低減させることを目的とした施設。



クランク型



スラローム型

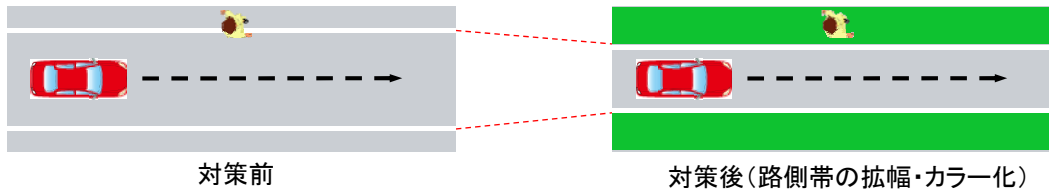
# 路側帯の拡幅・カラー化について

路側帯は、歩行者が安全に通行するために、白線により明確化された、道路の路端寄りの歩行者の通行空間。

## 路側帯・・・歩道が設置されていない道路で、白線で区切られた道路端の部分

目的:

歩行者の通行空間を明確化することによって、歩行者が安全に通行できる空間を確保。



※路側帯は、基本的に歩行者が通行するために設けられた場所であり自動車は通行できません。  
ただし、軽車両(自転車など)は通行することができます。